



報道関係各位

2017 年 10 月 30 日

工学院大学が新宿駅周辺地域との防災活動 10 年目の取り組み ～「新宿ならではの防災」を大学の専門性を生かして地域の付加価値を創造～

工学院大学(学長:佐藤 光史、所在地:東京都新宿区／八王子市)は、各分野での専門性を生かしてエリア防災研究を進めており、新宿西口地域と合同で行う防災訓練事業は今年で 10 年目を迎えます。新宿区が掲げる「新宿ならではの防災」を具体化するために、建築学部と情報学部の技術を中心に、「逃げる必要のない都市」の実現を目指した様々な取り組みを行っています。また、災害時に行動できる人材の育成として、防災訓練事業には多くの学生らが積極的に参加しています。



ドローンによる高層ビル外壁調査の様子(9/8 実施)

【本件のポイント】

- 工学院大学は新宿駅周辺防災対策協議会(事務局:新宿区)の牽引役として、今年で 10 年目となる様々な地域連携防災訓練を継続実施し、11 月には「防災 WEEK2017」などの防災イベントを開催。
- 専門分野である建築学や情報学を生かし、ドローンを活用した避難誘導や高層ビル外壁調査などの実証実験や、地域での避難所開設キットを開発。
- エリア防災への取り組みが文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」採択(2016 年)を機に加速、地域連携防災訓練や災害時の支援機器開発を行っている。

【本件の概要】

新宿駅西口地域にキャンパスを構える工学院大学は、災害時には西口現地本部となり、新宿区災害対策本部と連携して、地域の混乱防止と応急活動を支援する役割を担います。なかでも、地域合同防災訓練は今年で 10 年目を迎え、2011 年東日本大震災時での新宿駅周辺地域が大量の帰宅困難者で混乱したことなど、様々な課題解決をエリア防災の視点から新宿駅周辺防災対策協議会を中心とした地域全体で取り組んでいます。

これらのエリア防災の取り組みは、2016 年の文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」採択を受けてさらに加速しており、工学院大学の建築学部と情報学部の専門性を生かした実証実験や防災活動を支援するツール群の開発を行っています。

主な研究・開発として、ドローンを活用した避難誘導を実現するための実証実験や、避難所開設のためのキット、自立移動式災害応援支援ユニット「D-ZEV」などがあります。

高層化・深層化が進む新宿西口エリアならではの防災対策への取り組みは、世界中の大都市で広く活用・応用されることが期待されています。

※別紙にて工学院大学の取り組みについて紹介しています。

【今後の主な防災イベント】

「防災 WEEK2017」開催期間:11/6(月)～22(水) 会場:工学院大学新宿キャンパスほか

11/6(月) 主な講演「長周期地震動関連の社会動向」久田嘉章 建築学部教授 11/6(月)16:00-18:00

主なイベント「“新宿ならではの”防災コミュニケーションツール」11/6(月)10:00-17:00

11/8(水) 西口地域地震防災訓練＜自衛消防・現地本部訓練＞(会場:西口イベント広場、工学院大学ほか)

11/28(火) 学園総合防災訓練(会場:工学院大学)

＜取材に関するお問い合わせ＞

学校法人工学院大学 総合企画部広報課 担当:堀口・松本
TEL: 03-3340-1498 / e-mail: gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp

「工学院大学が取り組むエリア防災、10年の歩み」

- 2007 年度 新宿駅周辺地域の事業者・医療従事者・防災関係機関・新宿区などが連携した大規模な地震防災訓練を開始(会場:工学院大学)
- 2009 年度
- ・新宿駅周辺防災対策協議会は「新宿ルール」を制定。工学院大学は専門家として立案から携わる。
 - ・地域事業者の防災リテラシー向上のために、「新都心の地域減災セミナー」、地域連携訓練を開始(会場:工学院大学)
 - ・東北福祉大学、神戸学院大学との共同事業「防災・減災・ボランティアを中心とした社会貢献教育の展開」開始。
- 2011 年 3 月 東日本大震災発生。帰宅困難者を新宿キャンパスで受け入れ、備蓄品(食料、飲料、毛布など)を提供。〈写真1〉
- 2011 年 4 月 写真修復ボランティア「あなたの思い出まもり隊」の活動を、仙台・神戸・東京(本学)で開始。学生を中心に、教職員や社会人 183 名が参加。〈写真2〉
- 2012 年 12 月 新宿区と「防災・減災対策の相互連携に関する基本協定」「帰宅困難者一時滞在施設の提供に関する協定」を締結。
- 2013 年 2 月 八王子市中野町甲和会と「防災・減災対策の相互連携に関する基本協定」締結。
- 2014 年度 避難所開設キット、新宿区での設置開始(2018 年度で全避難所に設置終了)
- 2016 年 6 月 新宿駅周辺防災対策協議会は「新宿ルール実践のための行動指針」を制定。工学院大学は立案から携わる。
- 2017 年 2 月 新宿駅周辺防災対策協議会の有志からなる「チーム・新宿」を立ち上げ、ドローンによる誘導実証実験を実施。〈写真3〉
- 2017 年 9 月 ドローンによる外壁調査を本学新宿キャンパスで実施(協力:損害保険ジャパン日本興亜株式会社ほか)



〈写真1:東日本大震災での帰宅困難者受け入れの様子〉



〈写真2:「あなたの思い出まもり隊」の活動の様子〉



〈写真3: >ドローンによる誘導実証実験の様子

「新宿駅周辺防災対策協議会」とは

大規模地震発生時の混乱防止や被害軽減を目的に、新宿駅周辺地域にある事業所等からなる団体です。交通部会、情報発信専門部会などの部会活動や、大規模な合同地震防災訓練を企画・開催しています。

事務局 :新宿区危機管理担当部危機管理課

協議会 HP :https://www.city.shinjuku.lg.jp/anzen/kikikanri01_000109.html